

令和5年度

管内概況書

上伊那地域振興局

令和5年度上伊那地域振興局 管内概況書 目次

管内の概況

概況	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
統計データ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2

上伊那地域振興局各課の概況

総務管理課	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
企画振興課	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
環境・廃棄物対策課	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
農地整備課	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
林務課	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
商工観光課	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
農業農村支援センター	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15

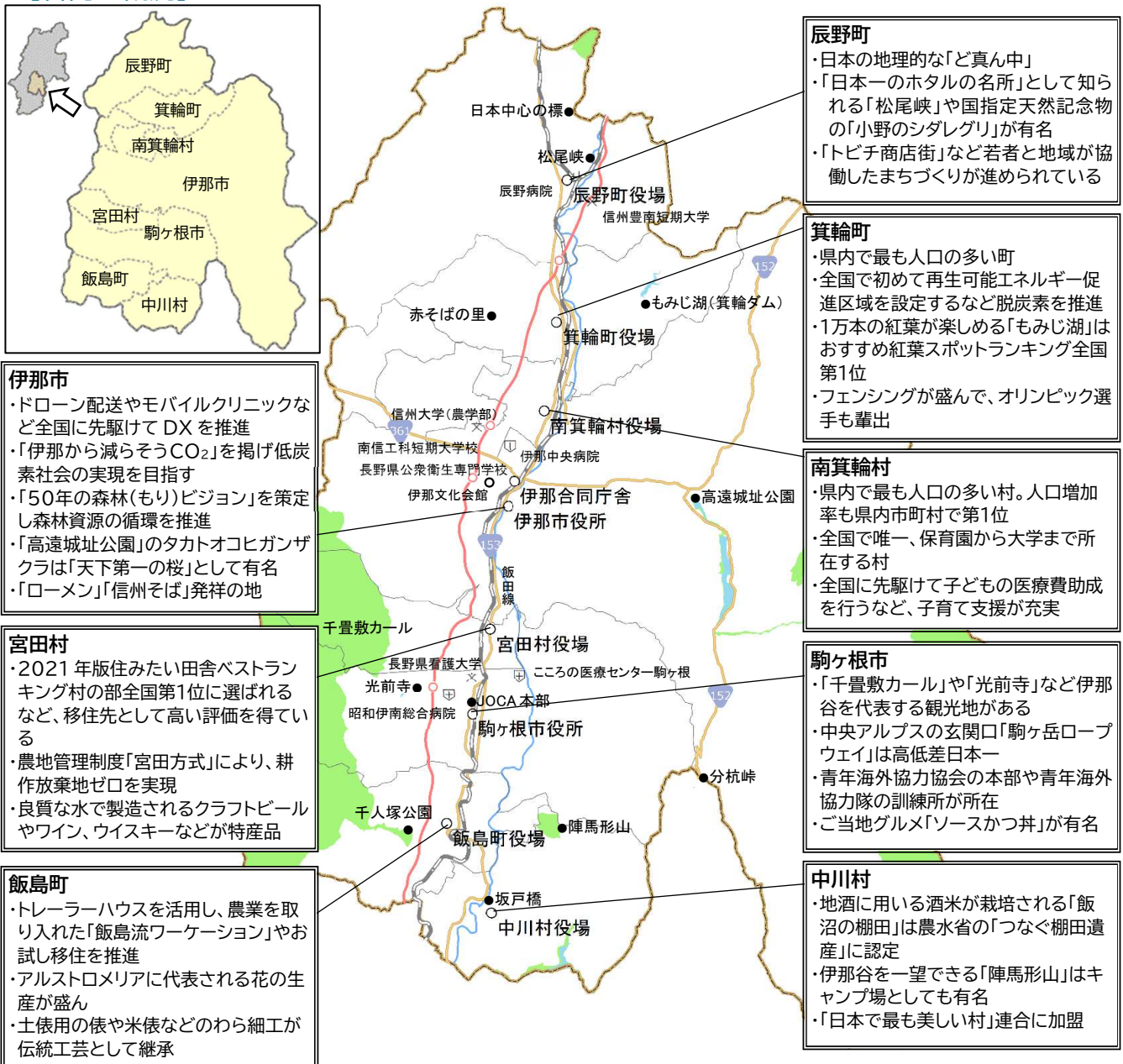


リニア時代を見据え しあわせと活力あふれる 伊那谷「INA Valley」の実現をめざします

上伊那地域の特徴

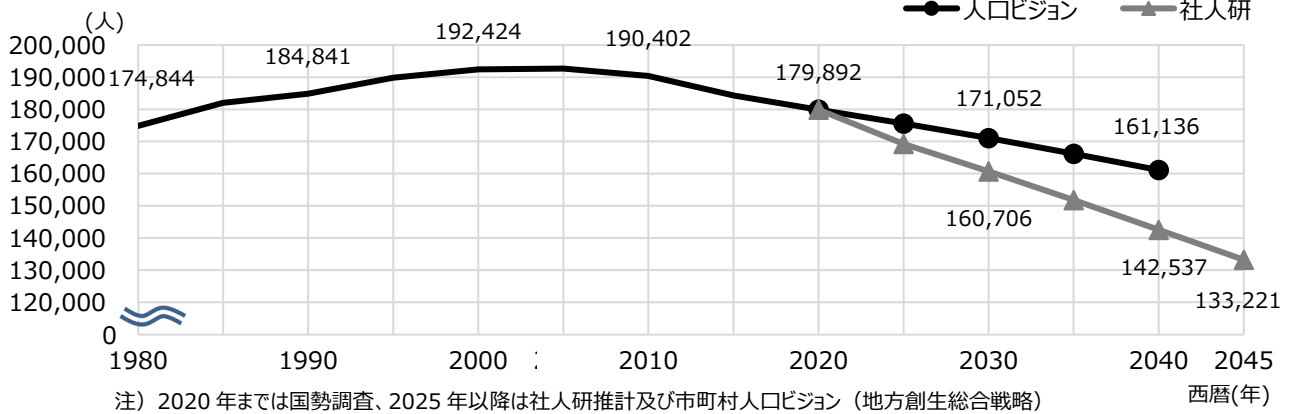
- ・上伊那地域は、全国で唯一、二つのアルプス（南アルプスと中央アルプス）が展望できる、天竜川沿いに形成された河岸段丘に美しい田園風景が広がる、豊かな自然と雄大な景観に恵まれた地域です。
- ・ものづくりが盛んな地域で、首都圏と中京圏の中間に位置する立地と高い技術力を活かし、電子・デバイス、輸送関連等の加工組立型産業が発展しています。
- ・全国トップクラスの品質と単位収量を誇る米をはじめ、野菜・果樹・花き・畜産など風土を活かした多様な農畜産物が生産されています。また、地域の8割を森林が占め、カラマツなど豊富な森林資源を活かしたペレット・薪の生産が進められています。
- ・リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備により、都市圏との更なる交流の拡大が期待されています。

【管内の概況】



【人口】

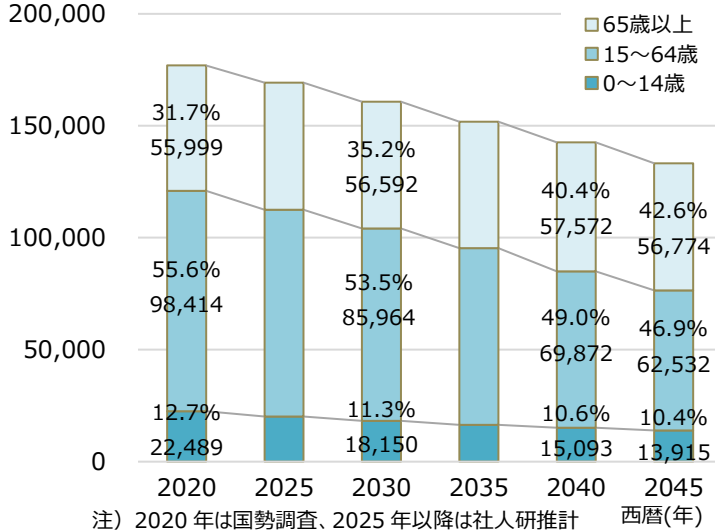
人口の推移



注) 2020年までは国勢調査、2025年以降は社人研推計及び市町村人口ビジョン(地方創生総合戦略)

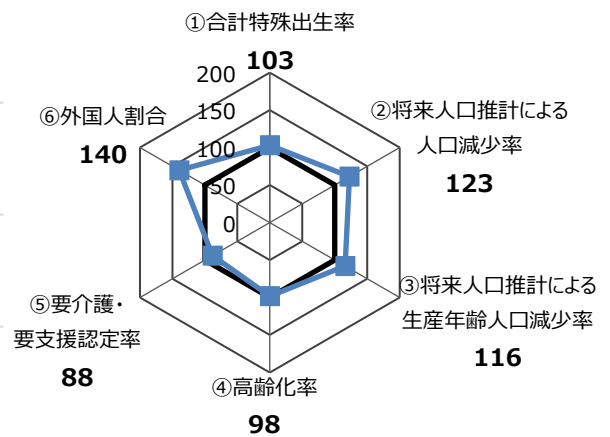
注) 人口ビジョンは2045年まで推計していない市町村があるため2040年まで記載

年齢3区分別人口の推移

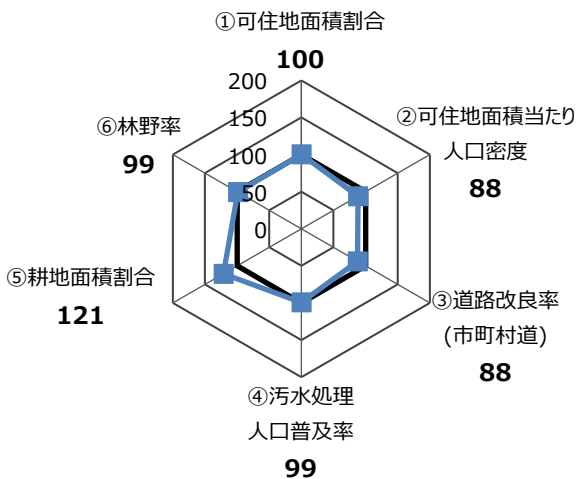


注) 2020年は国勢調査、2025年以降は社人研推計

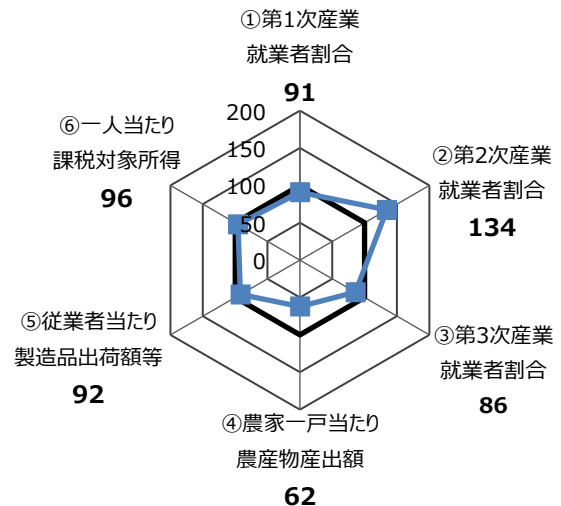
【地域の特徴(人口)】



【地域の特徴(地勢)】



【地域の特徴(産業)】



注) 長野県を100として上伊那地域と比較(指数)

- ・社人研推計によると、2040年の人口は約14.2万人と、2020年と比較して20.8%減ですが、市町村人口ビジョンの推計では人口減少に歯止めをかける政策により、2040年の人口は約16.1万人(2020年比10.4%減)となる見込みです。
- ・農業生産基盤の整備が進んでいること等から、耕地面積割合は県平均を上回っています。
- ・製造業が集積した地域であることから、第2次産業就業者割合が県平均を大きく上回っています。
- ・米が主力作物であること等から、農家一戸当たり農産物産出額は県平均を下回っています。

1 庁舎・職員宿舍の状況

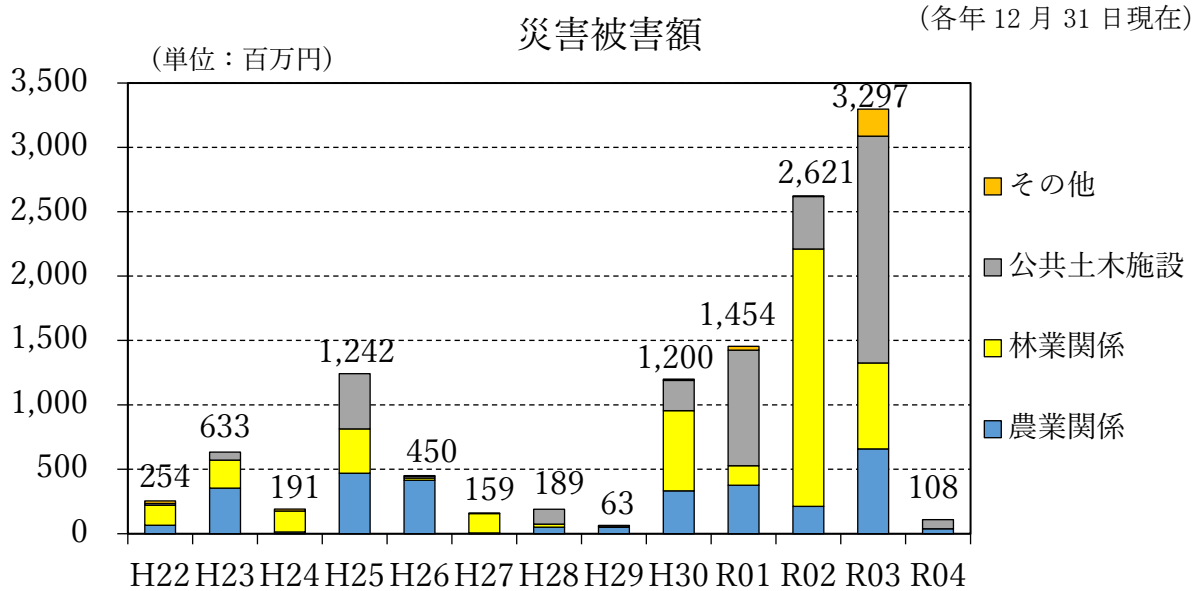
令和5年4月1日現在



※職員宿舍入居率 52% (単身用75%・世帯用72%・独身寮31%)

2 災害発生状況

令和4年7月3日から4日の豪雨や令和4年9月19日の台風14号によって公共土木施設や農林水産業施設に被害が生じるなど、出水期を中心に災害が発生しましたが、年間被害額は近年では平成29年度に次いで少ない108百万円でした。

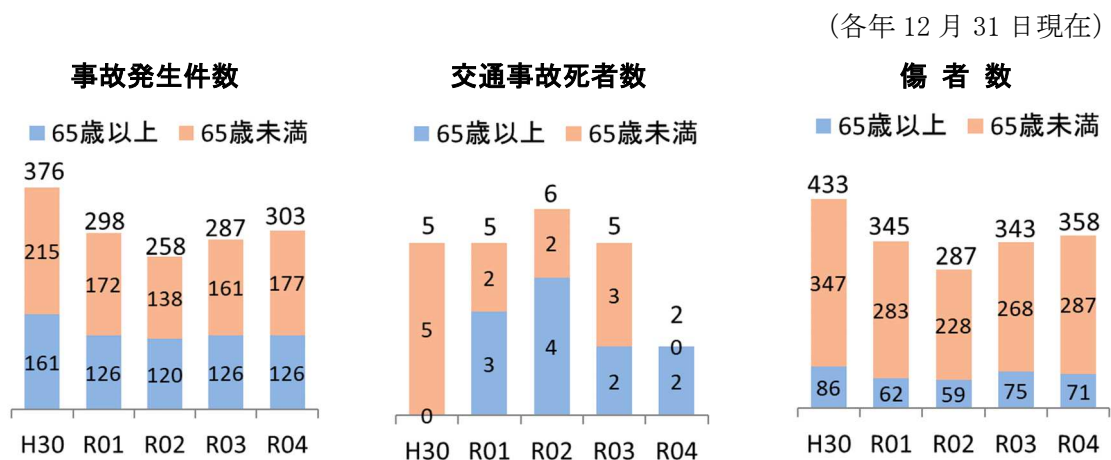


(出典：危機管理部「長野県の災害と気象」)

3 交通事故発生状況

令和4年の交通事故は、303件（前年比16件増）、死者数2人（前年比3人減）、傷者数358人（前年比15人増）でした。

県内で発生する死亡事故は、時間帯は夕暮れ時から夜間にかけて、状態は歩行中、年齢層は高齢者が多いという特徴があるため、季別を実施する交通安全運動では、早めのライト点灯や高齢歩行者に対して反射材の利用を呼びかけ、事故防止の徹底を図っています。



(出典：県民文化部「事故統計」)

1 上伊那地域計画（令和5年度～令和9年度）

めざす姿	人々の思いが力が重なり高まり未来を創る 二つのアルプスに護られた水と森林と太陽の伊那谷
地域重点政策	<ul style="list-style-type: none"> ■ 伊那谷の未来を創る「ひと」づくり ■ 誰もが安心して、快適に暮らし、人生を楽しめる「まち・暮らし」づくり ■ 人が集い、新たな価値を共創する「つながり」づくり ■ 22世紀も二つのアルプスにライチョウが生息し続けられる「脱炭素社会」づくり

2 上伊那地域の横断的な課題（令和5年度）

横断的な課題	施策の柱
伊那谷の未来を創る「ひと」づくり	地域産業の担い手の確保・育成 郷土に誇りと愛着を持てる人材の育成
誰もが安心して、快適に暮らし、人生を楽しめる「まち・暮らし」づくり	産業の振興 安全・安心の基盤整備 医療・福祉の充実 学びの環境整備 豊かな自然環境の保全と利活用
人が集い、新たな価値を共創する「つながり」づくり	広域観光の推進 交流の促進 移住・定住の促進
22世紀も二つのアルプスにライチョウが生息し続けられる「脱炭素社会」づくり	脱炭素社会の実現に向けた体制整備 エネルギー自立地域に向けた取組の推進 CO2吸収増に向けた取組の推進

3 地域振興推進費（令和4年度）

事業名	事業概要
Uターン就職促進事業	Uターン就職を促進し地域産業の担い手を確保するため、SNSによる地元就職情報提供サービスの登録促進や企業説明会の周知
農業水利資産の郷土学習事業	郷土を学び地域を支える人材育成のため、西天竜の農業水利資産を学ぶ教材を作成し、小学生を対象とした現地見学会を開催
建設産業の魅力を実感プロジェクト事業～高校生が行う身近な公共施設建設体験～	建設産業への就職志向を高めるため、高校生を対象に、伊那市春日公園噴水跡地リニューアル工事の設計・施工の実地体験による建設産業の魅力を学ぶ機会の提供
地域の先端技術産業を学ぶ林業体験学習事業	林業への就職希望者の増加を図るため、高校生を対象に、先端技術を活用した林業機械の操作等を行う林業体験研修会を開催
地域の子育て支援体制強化事業	誰もが安心して利用できる子育て支援体制を目指し、地域の子育て支援体制のあり方の検討、身近な支援者養育等里親の育成
中央アルプス国定公園化記念環境スタディツアー事業	伊那谷の豊かな自然環境を保護し、次世代へ引き継ぐ意識を高めるため、夏休みに親子を対象としたスタディツアーを開催
伊那谷ビュースポット発掘・発信事業	観光スポットの発掘と情報発信のため、上伊那・南信州地域のビュースポット写真を収集し、フォトコンテストを開催
ゼロカーボンセミナー事業	県ゼロカーボン戦略の目標達成に向け、地域の機運を高めるため、事業者、市町村と県が連携しセミナーを開催
リニア3地域（上伊那・南信州・木曾）の広域観光連携推進事業	広域観光の具体的な取組の推進のため、上伊那・南信州・木曾地域のDMO等が連携し、広域周遊ルートのモデルコースを設定
伊那谷 de キャリア教育研修会事業	上伊那・南信州地域の人材育成の取組を拡大するため、キャリア教育の視点から地域づくりを考える研修会を開催
放置竹林整備体制構築事業	上伊那地域で広まりつつある放置竹林の整備のため、講習会を開催し住民自ら整備できる体制を構築

4 地域発 元気づくり支援金

(1) 事業区分別交付実績 (令和4年度)

(単位：千円)

事業区分		件数	金額	内容例
1	地域協働の推進	1	1,358	郷土館築100周年を契機に、地域の歴史や文化を再認識してもらうイベント
2	保健、医療、福祉の充実	1	1,158	スマホアプリを活用したウォーキングイベント
3	教育、文化の振興	13	13,472	地域資源を活用した現代美術のワークショップ
4	安全・安心な地域づくり	0	0	
5	環境保全、景観形成	6	11,611	ハッチョウトンボの生育環境・観察環境の整備
6	産業振興、雇用拡大	13	21,535	
	(1) 特色ある観光地づくり	7	11,877	観光アクセスを確保する定時定額乗合タクシーの運行
	(2) 農業の振興と農山村づくり	1	602	地元産ブドウを使用したワインの浸透と認知度拡大を図るイベント
	(3) 森林づくりと林業の振興	1	1,901	人と森とのつながり方を提案するイベント・ビジネスマッチング
	(4) 商業の振興	1	1,370	子育て世代が訪れやすい店舗を示した商店街マップの作成
(5) その他	3	5,785	働く意欲のある人向けのデジタルワーク講座とオンライン研修環境の整備	
7	市町村合併に伴う地域の連携	0	0	
8	その他地域の元気を生み出す地域づくり	4	7,537	年間を通じて企業と学生がつながる就活セミナー
合計		38	56,671	
《参考》 令和2年度交付実績		32	39,584	
令和3年度 〃		31	52,739	

(2) 重点テーマ交付実績 (令和4年度)

(単位：千円)

重点テーマ		件数	金額
県全域	地域防災力の向上	0	0
	2050 ゼロカーボンに向けた取組の推進	3	8,724
上伊那	若者のUIJターン就業の促進	3	4,162
	リニア中央新幹線の開業を見据えた交流、移住、定住の促進	7	14,405
	上伊那の特色ある産業・文化を担う人づくりの推進	10	12,343
合計		23	39,634

(3) 優良事例 (令和3年度)

賞名	事業名	実施団体
知事表彰	森林(もり)を楽しむ事業	伊那市 ミドリナ委員会
地域振興局長表彰	遊び、学び、繋がる地域の拠点「みんなの村づくり」	認定特定非営利活動法人 フリーキッズ・ヴィレッジ
	千人塚四季彩プロジェクト	飯島町

1 脱炭素社会の実現に向けた取組

2050 ゼロカーボンの達成と持続可能な脱炭素社会の実現を目指し、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの普及拡大などに取り組んでいます。

(1) 2050 ゼロカーボン宣言

管内市町村のすべてが長野県気候非常事態宣言に賛同し、伊那市、辰野町、箕輪町、飯島町及び南箕輪村は「2050年ゼロカーボンシティ※」を表明しています。

※ 2050年にCO₂を実質ゼロにすることを目指す旨を首長自らが又は地方自治体として公表した地方自治体

(2) 「ゼロカーボンセミナーin上伊那」の開催

ゼロカーボンの最新の知識や地域の特性を生かした先進的な取組について学び、考える機会として、「ゼロカーボンセミナーin上伊那」を令和5年1月に開催し、事業者15社や自治体関係者等に参加していただき、地域の取組の情報交換を行いました。

2 自然保護

上伊那は南アルプス、中央アルプスの二つのアルプスと河岸段丘からなる雄大な自然を有しています。これらの自然環境を保護し活用するため、自然公園法、長野県立自然公園条例、長野県自然環境保全条例等により、一定の行為が規制されています。

(1) 登山道整備等に係る補助実績（令和4年度）

中央アルプス国定公園重点整備支援事業補助金※（4団体7箇所）

補助率：自然公園法第16条の規定により実施する施設整備 72.5/100以内
その他 2/3以内

※国定公園化に伴う令和2～4年度の3年間事業。

山 域	箇 所	整備内容	実施主体
中央アルプス国定公園	大樽避難小屋	避難小屋改修	伊那市
〃	駒ヶ岳縦走線道路※	道標等整備	駒ヶ根市
〃	千人塚園地事業	標識(看板)改修	飯島町
〃	宝剣岳避難小屋	避難小屋改修	宮田村
〃	宝剣岳野営場	野営場整備	〃
〃	濃ヶ池線道路	歩道整備	〃
〃	八丁坂線道路	歩道整備	〃

※駒ヶ岳縦走線道路は、令和5年度に繰り越し。

自然環境整備交付金（2団体3箇所 補助率：国定公園 45/100以内 県立自然公園 1/2以内）

山 域	箇 所	整備内容	実施主体
中央アルプス国定公園	檜尾野営場※	避難小屋改修	駒ヶ根市
〃	空木岳駒石コース線道路※	歩道整備	〃
三峰川水系県立公園	鹿嶺高原園地	展望台整備	伊那市

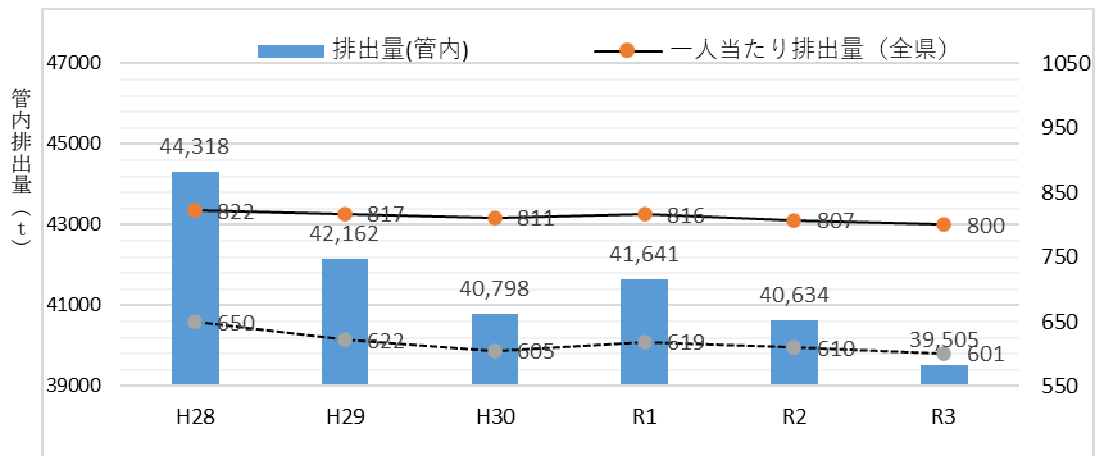
※檜尾野営場及び空木岳駒石コース線道路は、令和5年度に繰り越し。

3 廃棄物対策

(1) 一般廃棄物対策

管内市町村における一般廃棄物の排出量は以下のとおりです。一般廃棄物の処理は上伊那広域連合に一本化して実施しており、ごみ処理広域化計画及びごみ処理基本計画に基づき、可能な限りの排出抑制・再資源化・減量化を図っています。

○一般廃棄物排出量の推移



(出典：上伊那地域振興局調)

(2) 産業廃棄物対策

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく事業者数は、以下のとおりです。産業廃棄物処理業者、処理施設等へ立入を行い必要に応じ指導を行っています。

○産業廃棄物処理業者数

(令和4年度末)

区分	業種	県全体	管内				計
			上伊那	南信州	木曾	県外	
産業廃棄物処理業	収集運搬業	3,635	234	236	46	310	826
	処分業	248	41	27	7	2	77
特別管理産業廃棄物処理業	収集運搬業	406	11	7	0	67	85
	処分業	8	1	2	0	—	3
合計		4,297	287	274	53	377	991

※県全体は長野市・松本市を除く

(出典：上伊那地域振興局調)

○立入検査件数

(令和4年度)

区分	業種	管内			計
		上伊那	南信州	木曾	
立入検査	事業者	976	528	66	1570
	施設	448	88	4	540
指示書交付	事業者	11	16	1	28
	施設	1	0	0	1

(出典：上伊那地域振興局調)

一人当たり排出量 (g/日)

1 上伊那の農業農村整備状況

➤ 管内概況

上伊那地域の農地は、天竜川及び三峰川沿いに広がる水田地帯と、西部に広がる畑地帯に大別されます。

管内の水田整備率は 94.1% (県 86.2%)、畑地整備率は 61.4% (県 35.4%)、畑地かんがい施設の整備率は 57.4% (県 28.0%) に達し、県全体(平均)の整備率を大きく上回っています。

整備状況一覧表 (令和 4 年 3 月末時点)

区分	面積 (ha)	整備 (ha)	整備 (%)
水田	8,102	7,622	94.1
畑	4,466	2,743	61.4
計	12,568	10,365	82.5

<水田地帯>

昭和初期より県営かんがい排水事業等で農業水利施設の整備が進められ、安定した農業用水が確保されました。

また、昭和 40 年代からは、県営ほ場整備事業等により農業生産性の向上と農業構造の改善が進んでいます。

※圃場整備を行い、農作業の効率化が図られた水田
県営ほ場整備事業 下平地区 (駒ヶ根市)



<畑地帯>

昭和 40 年代から 50 年代にかけて、国営かんがい排水事業及び県営畑地帯総合土地改良事業により整備され、野菜や果樹を中心とした農業経営が展開されています。

※施設整備により収量や品質が安定した果樹
畑地帯総合土地改良事業 伊那西部地区 (伊那市)



2 長野県農業農村整備計画における 3 つの施策体系に沿った事業展開

➤ 上伊那管内の事業実施予定 (R5. 6. 1 時点)

令和 5 年度事業費 21 億 7,082 万円 (令和 4 年度最終比 83.7%)

施策体系① 次代を担う産地を支える基盤整備の推進

生産基盤

【経営体育成基盤整備、かんがい排水 等】

■ 生産効率の高い農地の整備

- 農地の区画拡大や農業用水管理の省力化の推進
- 作物の品質と収益性の向上を目指した農地の整備

■ 農業用水を安定供給するための農業水利施設の長寿命化

- 農業水利施設の適切な保安全管理
- 重要構造物の耐震・長寿命化の推進

➤ 上伊那管内の実施予定

県 営：かんがい排水事業 春富 6 号地区 他 1 地区 38,126 千円

団体営：地域農業水利施設ストックマネジメント事業 西天竜 3 期地区 他 20 地区 406,648 千円

春富 6 号地区
改修された用水路 (伊那市)



施策体系② 安全安心で持続可能な農村の基盤づくり

農地防災

【農村地域防災減災対策、地すべり対策 等】

■ 農村の暮らしを守る防災減災対策

- ため池の安全対策の推進
- 地すべり防止施設の長寿命化の推進

対策工事及び監視システム
が設置された千人塚ため池（飯島町）



農村整備

【農業水利施設の自動化・遠隔化、農道整備 等】

■ 農業水利施設の自動化・遠隔化

- 農業水利施設に係る水門の自動化・遠隔化の推進
- 農業用水を活用した小水力発電施設の導入促進

■ 農業水利施設の適切な保管理体制の構築

- 農地や水を守る土地改良区の人材育成や運営強化

■ 定住条件の確保に向けた農地等の整備

- 地域の特徴を活かす生産基盤と生活環境の整備

農業用水を活用した小水力発電
「春富水力発電所」（伊那市）



➤ 上伊那管内の実施予定

県 営：農村地域防災減災事業 飯島地区 他 16 地区 1,116,279 千円
 団体営：基幹水利施設事業 伊那西部地区 他 24 地区 662,303 千円

施策体系③ 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

■ 多様な主体の参画により進める多面的機能の維持

- 農村を支える多様な主体の協働による取組を支援

➤ 上伊那管内の実施予定

多面的機能支払事業 伊那市 他 8 地区 377,139 千円

■ 農業資産が有する魅力を観光や学びに活用する取組の推進

- 棚田等の農業資産を観光や地域学習に活用する取組を支援

➤ 上伊那管内の実施予定

【農業用水探検隊】

上伊那管内の農業水利施設の歴史や役割、農業の大切さを学習する「農業用水探検隊」を平成 19 年度から開催しており、令和 4 年度までの 16 年間で、4 市町村（伊那市、辰野町、箕輪町、南箕輪村）の 9 小学校（延べ 3,232 人）と伊那北高等学校（36 人）の生徒が参加しました。今年度も引き続き実施していく予定です。

【棚田の魅力発信】

「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」に認定された 3 箇所の棚田について、パンフレットの活用等により魅力を発信し、棚田の保全・活性化を支援します。

- 飯沼の棚田（中川村）
- 中尾の棚田（伊那市長谷）
- 山室の棚田（伊那市高遠）

地元組織による水路改修



円筒分水工の仕組みを学ぶ小学生



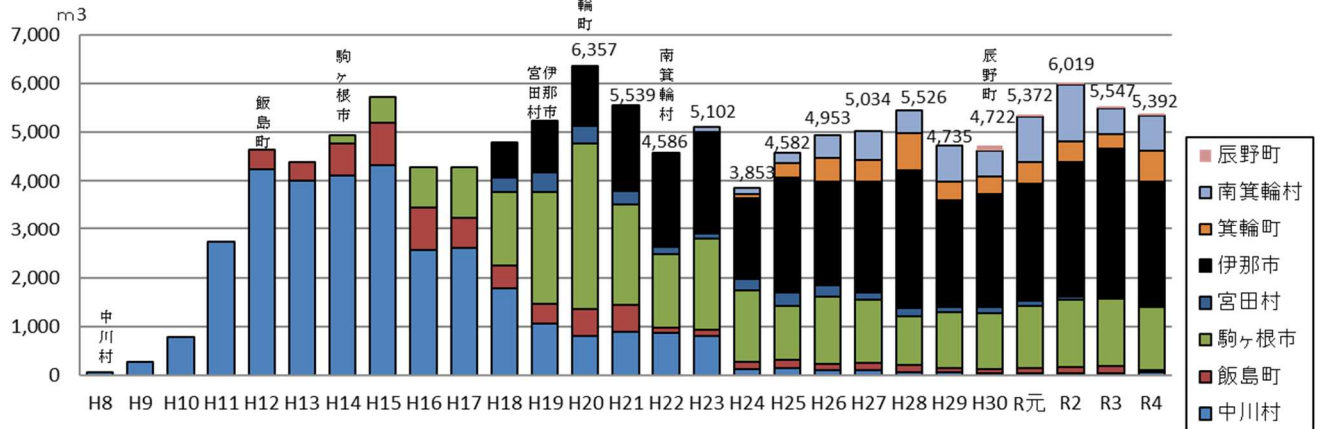
飯沼の棚田（中川村）



1 災害に強い森林づくり

◎松くい虫被害対策

被害量の推移



防除対策の実績 (R4年度)

区分	伊那市	駒ヶ根市	辰野町	箕輪町	飯島町	南箕輪村	中川村	宮田村	計
被害量 (m³)	2,558	1,290	55	646	47	712	61	23	5,392
補助事業	駆除量 (m³)								
	684								
	973								
	374								
補助事業	薬剤散布 (ha)								
	有人ヘリ								
	無人ヘリ								
地上散布									
樹種転換 (ha)									
34									
2									
2									
2									
5									
2									
税推進支援金等(伐倒駆除) (m³)	51								51
森林環境譲与税活用事業(伐倒駆除) (m³)			40						40
市町村単独等(伐倒駆除) (m³)	108	51	15	38	24	121	13	67	437
事業費 (千円)	180,674	44,696	1,560	17,784	10,936	23,477	900	4,556	284,583

注：被害量は令和5年3月末現在（駆除量は令和4年度以前の被害木も含む。）

資料：上伊那地域振興局調

◎治山事業の実施状況

(単位：箇所、千円)

区分	R3年度実績		R4年度実績		備考
	箇所数	事業費	箇所数	事業費	
山地治山	(10)	(226,091)	(5)	(149,543)	復旧治山、緊急総合治山、緊急予防治山、緊急機能強化、防災林造成、予防治山
	14	320,814	8	207,385	
水源地域整備	(2)	(54,010)	(1)	(33,624)	奥地保安林、保育
	3	68,390	1	33,624	
地すべり	-	-	(1)	(39,919)	
			1	39,919	
機能強化	(1)	(13,766)	(3)	(55,320)	
	3	46,006	3	55,320	
災害関連緊急治山	(7)	(505,593)	[1]	[83,453]	
	8	509,421	(1)	(34,683)	
			2	118,136	
県単治山	(4)	(20,900)	(9)	(29,548)	
	13	51,764	18	64,575	
計	(18)	(820,360)	[1]	[83,453]	【治山施設 谷止工】
	46	996,395	(20)	(342,637)	
			33	518,959	



資料：上伊那地域振興局調

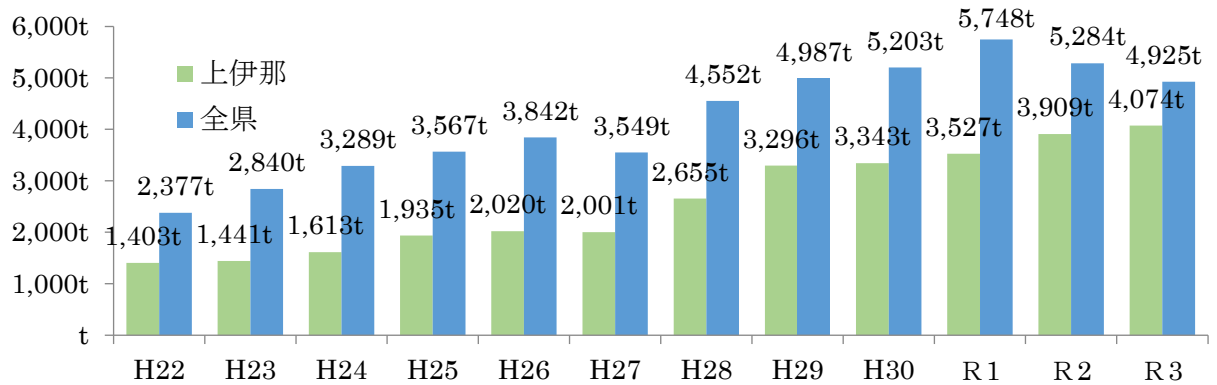
注：令和3年度実績欄の()は、令和2年度の繰越件数・繰越金額で内数
 令和4年度欄の[]は、令和2年度の事故繰越件数・事故繰越金額で内数
 令和4年度欄の()は、令和3年度の繰越件数・繰越金額で内数

2 地域の木材利用の促進

◎木質バイオマスエネルギーの利用促進

ペレット生産量の推移

資料：林務部及び上伊那地域振興局調



ペレットストーブ、ボイラー管内導入状況

(単位：台)

区分	市町村		県		国	個人・会社	森林組合	計
	役場等	保・幼・小・中	合庁等	高校				
ストーブ	補助分	34	(18) 261	8	12	(8) 274	(8) 44	(34) 633
	その他	9	9	1		(3) 89	17	(3) 129
	計	43	(18) 270	9	12	4	(19) 363	(8) 61
ボイラー	補助分	2	(2) 14	1		1	1	(2) 19
	その他	(1) 1	4			6		(1) 11
	計	(1) 3	(2) 18	1		7	1	(3) 30

資料：上伊那森林組合調 (R4. 3. 31 現在) () は R3 導入分、内数



ペレットボイラー

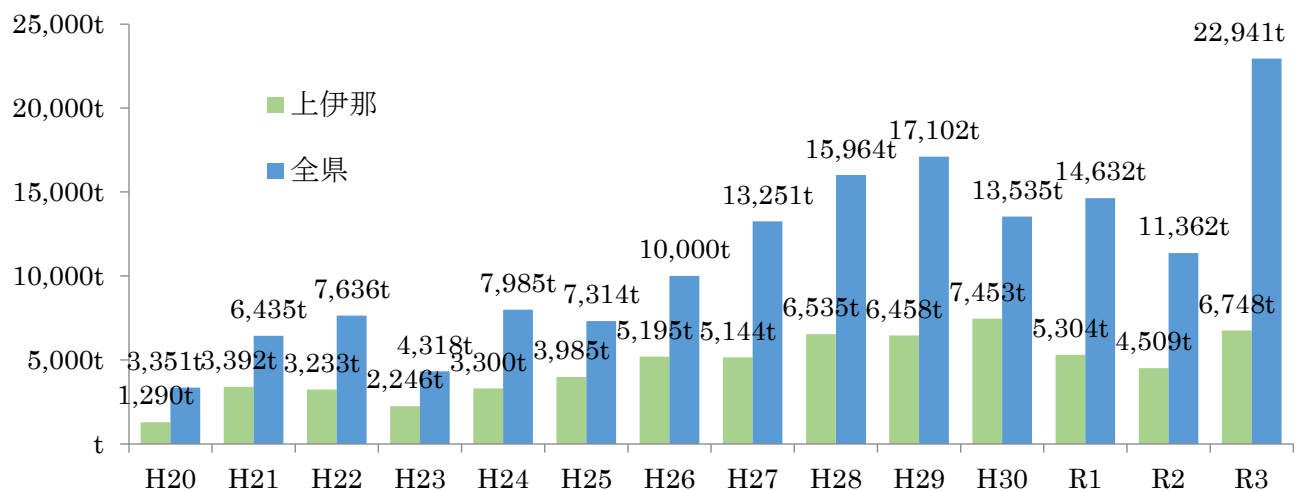


ペレット工場



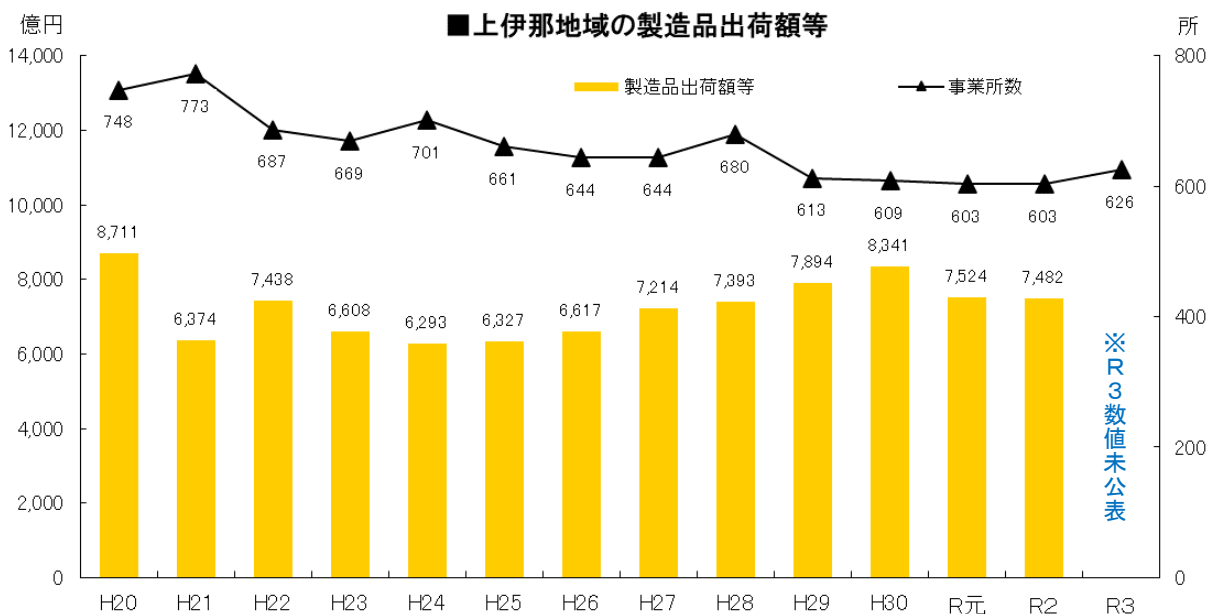
薪生産所

薪生産量の推移 (林務部及び上伊那地域振興局調)



1 製造品出荷額等の状況

管内製造品出荷額等は、世界経済悪化の影響を受け平成20年から21年にかけて大きく減少しました。その後、平成24年から微増傾向でしたが、米中貿易摩擦の影響により、中国への輸出が減ったため、令和元年から減少に転じています。



令和2年の製造品出荷額等

(事業所数・従業者数はR3.6.1時点、製造品出荷額等はR2年1月～12月)

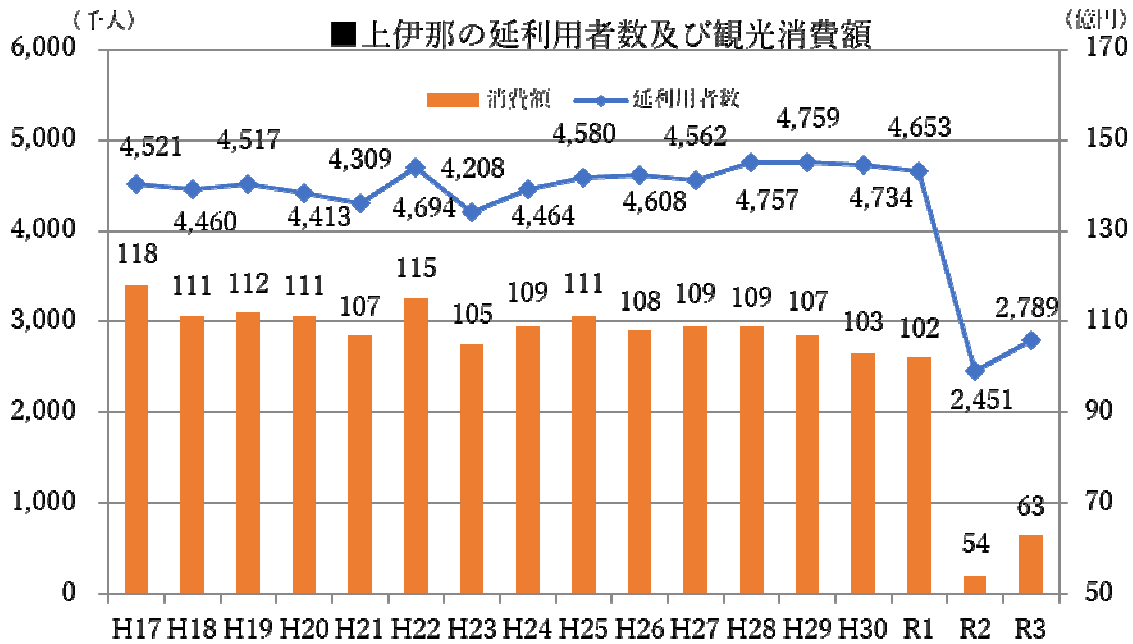
	事業所数		従業者数		製造品出荷額等	
	所	前年比 %	人	前年比 %	百万円	前年比 %
伊那市	153	112.5	5,973	93.7	176,842	95.2
駒ヶ根市	99	94.3	5,104	99.6	155,135	98.7
上伊那郡	374	103.3	15,610	99.7	416,208	101.7
辰野町	81	97.6	3,997	86.3	96,823	84.4
箕輪町	144	107.5	5,169	111.6	142,953	104.2
飯島町	36	92.3	1,623	83.9	36,029	70.9
南箕輪村	50	104.2	2,075	110.0	89,036	170.0
中川村	14	116.7	284	117.8	3,954	98.8
宮田村	49	106.5	2,462	105.3	47,413	94.1
郡市計	626	103.8	26,687	98.3	748,185	99.4
県計	4,825	101.2	198,141	98.0	6,043,116	98.1
対県比	13.0		13.5		12.4	

(出典：経済産業省「工業統計調査」、総務省統計局「経済センサス」)

2 観光地の利用者数及び観光消費額

令和3年観光地利用者統計調査によると、管内利用者数は279万人、観光消費額は63億円となっており、令和2年と比べると、利用者数、観光消費額ともに多少は増加していますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から令和元年と比較すると大幅な減少となっています。

来訪した観光客は県外客の割合が32.5%（長野県61.2%）、宿泊客の割合は13.7%（同30.3%）となっており、ともに県下10圏域で最も低く、身近な日帰り型の観光形態となっています。









○令和3年度 主な観光地の利用者延数・観光消費額（上位10地点）

観光地名	延利用者数 (千人)						観光消費額 (百万円)		
	総数	県内・県外別		日帰り・宿泊別		前年比			
		前年比	県内	県外	日帰り			宿泊	
上伊那管内総数	2,789	113.8%	1,881	908	2,408	381	6,254	115.2%	
伊那西部高原	伊那市	428	104.2%	318	110	408	20	790	105.5%
大芝高原	南箕輪村	314	104.9%	304	10	301	13	217	110.2%
駒ヶ根高原	駒ヶ根市	292	111.4%	87	205	108	184	1,855	108.5%
光前寺	駒ヶ根市	200	108.2%	60	140	200	0	100	108.2%
ながた自然公園	箕輪町	178	102.6%	160	18	167	11	135	116.0%
羽広	伊那市	173	101.4%	145	28	171	2	373	102.8%
高遠城址公園	伊那市	150	295.5%	106	44	138	12	230	275.8%
道の駅田切の里	飯島町	121	94.1%	85	36	121	0	206	103.0%
中央アルプス駒ヶ岳	駒ヶ根市	118	117.1%	35	83	109	9	744	118.6%
荒神山公園	辰野町	114	103.3%	101	13	95	19	231	102.7%

(出典：長野県「観光地利用者統計調査結果」)

1 農畜産物の生産状況

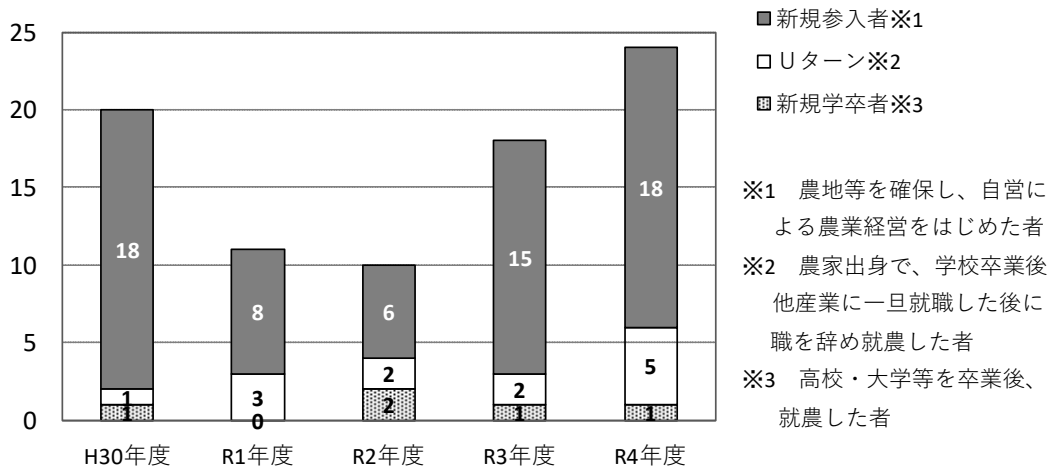
<p>米穀</p> 	<p>米は、「コシヒカリ」を中心に栽培されており、上伊那地域を含む南信地方の水稲の単収は 621kg/10 a (令和4年産)で、全国でもトップクラスとなっています。(注：水稲うるち玄米)</p> <p>また、特別栽培米など環境にやさしい減化学肥料・減化学合成農薬栽培への取組が進められるとともに、J Aでは、等級比率や食味の向上など米の高品質化を図っています。</p> <p>麦、大豆、そばは、転作作物として主に営農組織による栽培が行われています。</p>
<p>野菜</p> 	<p>アスパラガス、白ねぎ、ブロッコリー、スイートコーンを中心に生産振興が図られています。また、きゅうり・いちごなどの施設栽培や、集落営農組織を中心にキャベツ・ジュース用トマトなどの業務用野菜の栽培にも取り組んでいます。</p>
<p>畜産</p> 	<p>本県の生乳生産量の2割を占める酪農を中心に、肉用牛(肥育・子牛生産)・養鶏・養豚などが行われています。自給飼料生産にも積極的に取り組んでおり、飼料生産請負集団の組織化も進んでいます。また、耕畜連携により稲WC S (ホールクロップサイレージ) 及び飼料用米が利用されています。</p>
<p>きのこ</p> 	<p>ぶなしめじを中心に、えのきたけ、なめこが大型法人により生産されています。生産性が高く、よりコストが抑えられる培地原料の配合検討や消費電力の小さいLED照明の導入を図るなど、低コストで生産性の高い経営の実現に向けた取り組みが行われています。</p>
<p>花き</p> 	<p>県内生産量の約8割を占めるアルストロメリアをはじめ、カーネーション、トルコギキョウ、リンドウ、シンテッポウユリ等の切り花、シクラメン、洋ラン等の鉢花など多くの品目が生産されています。標高差を利用した同一産地内でのリレー出荷や、トルコギキョウではJ A上伊那オリジナル品種の導入により栽培が行われています。</p>
<p>果樹</p> 	<p>りんごとなしを中心に、ぶどう、もも、かき、ブルーベリー、くり等が栽培されています。</p> <p>りんごは、晩生種の「ふじ」から中生種(「秋映」、「シナノゴールド」等)、早生種(「シナノリップ」)への品種更新が進められている。また、りんごの早期多収、栽培作業の効率化に向けて高密度植栽培への転換が行われています。</p> <p>なしは「南水」を中心に「幸水」「豊水」「二十世紀」が栽培されています。</p> <p>近年、生食用ぶどうの栽培面積が増えており、「シャインマスカット」、「ナガノパープル」に加え、新たに県オリジナル品種「クイーンスルージュ®」の栽培が始まっています。</p>

2 担い手の確保、育成状況

(1) 新規就農者の確保状況

上伊那地区新規就農促進連絡会議を核として市町村やJAとの連携を図りながら、国や県の支援制度などを活用し、新規就農者の確保を進めています。

社会情勢や景気の状態等により、相談者数及び新規就農者数は年度による変動が大きくなっています。

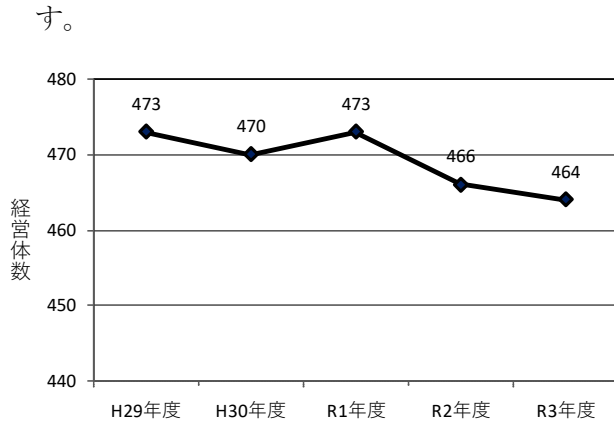


新規就農者（45歳未満）の推移 (単位：人)

資料：上伊那農業農村支援センター調べ

(2) 認定農業者数の状況

国では認定農業者に対する支援を重点的に進めてきており、認定農業者数は増加傾向にありましたが、農業者の高齢化等により平成 29 年度以降は横ばいから減少傾向となっています。

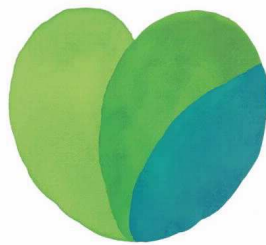


認定農業者数の推移

資料：上伊那農業農村支援センター調べ

(単位：経営体)

市町村名	令和 3 年度末	
		うち法人
伊那市	172	47
駒ヶ根市	77	19
辰野町	18	5
箕輪町	35	4
飯島町	57	14
南箕輪村	37	7
中川村	44	10
宮田村	24	5
合計	464	111



しあわせ信州

確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る

——— しあわせ信州創造プラン 3.0 ———
~大変革への挑戦 「ゆたかな社会」を実現するために~

長野県総合5か年計画推進中